

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北九州工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キタクユウシュウコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	学外実習
	学部・研究科等名	機械工学科、制御情報工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質化学工学科
	担当教職員名・役職	内田 武・教授 キャリア支援室長小清水 孝夫、脇山 正博、前川 孝司、白濱 成希、山本 和弥・本科第4学年担任 教員大波多 博文・学生課長補佐 学生課キャリア支援室担当若本 博子・非常勤職員 学生課キャリア支援室担当松本 克彦・特任教授 教育コーディネーター
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	201
	受入企業等数	200
	受入企業等名	ANAラインメンテナンステクニクス(株)、花王(株)、キャノン(株)、日産自動車九州(株)、安川情報システム(株) ほか110社
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 1-2.該当する就業体験	1.はい 1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業が設定した実習期間および就業体験(実習テーマ)から、学生自身の判断により受入れ企業を選定し、企業での1~2週間(実30時間以上)の実習(就業実務体験)を行う。企業設定テーマによっては、PBL型インターンシップも含まれる。また、学校側で、参加学生全員を「インターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険」に加入している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	本科第4学年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本科第4学年に「学外実習(専門選択1単位)」として、夏季休業期間の1~2週間(実30時間以上)で「短期・体験型インターンシップ」を設定している。企業・公的機関・大学などで、設計・生産・開発技術、試験・研究・保守管理などを実践的に学び、実社会の厳しさを知り、社会人に必要な責任感・協調性・倫理観などの形成を目指す。また、学生自身が勉学の意味と目標を再認識することで、将来の進路選択に役立てる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している,5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	対象学生全員に本校主催の「インターンシップ推進セミナー」の実施、(公財)北九州活性化協議会の産業人材育成フォーラムと連携した「地元企業研究」および「事前・事後アンケート」を実施している。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップの申請段階から本科第4学年の担任が関与し、適宜連絡が取れるようにしている。インターンシップ実施中の学生面談・企業訪問の実施はないが、緊急時の連絡体制を整備している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	対象学生全員に「インターンシップ推進セミナー」を開催し、本校が実施している複数種のインターンシップと過去の参加数の紹介に加え、インターンシップの目的・意義、活動中の注意事項などを指導している。また、外部機関の協力による「ビジネスマナー講習会」、(公財)北九州活性化協議会の産業人材育成フォーラムと連携した「地元企業研究」および「事前アンケート」を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ参加学生(平成28年度は本科第4学年の93%)は、該当学科毎に報告会を開催し、実習企業での実習内容に加え、実習で得たこと、今後の勉学への意欲などを報告書・発表内容で評価している。また、(公財)北九州活性化協議会の産業人材育成フォーラムと連携した「事後アンケート」を実施している。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの申請段階から本科第4学年の担任が関与し、適宜連絡が取れるようにしている。インターンシップ実施中の学生面談・企業訪問の実施はないが、緊急時の連絡体制を整備している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業側から提出される「実習評価報告書(取組み状況、講評など)」、学生が提出する「実習報告書(実習内容、得られた成果、本人の成長など)」、報告会の結果を元に総合評価する。この際、発表会は該当学生(平成28年度は約200名)が多いので、学科毎で評価するが、教員・学生が評価基準を共有するために、達成具合を明記したルーブリックによる基準を設定している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	連続5日以上(実30時間以上)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	基本的に夏季休業期間での1~2週間(実30時間以上)の設定で、連続5日以上短期・体験型インターンシップを本科第4学年「学外実習(専門選択1単位)」と認定しており、学科開拓企業、学校受け入れ企業、(公財)北九州活性化協議会の産業人材育成フォーラム仲介の地元企業は、全て実質5日~10日間の実務体験を実施している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生自身が、企業提示の「対象学科・期間・テーマ」などを理解した上で企業選定し、設定されたインターンシップに取組む。受入れ企業にはインターンシップ期間中の学生の取組み具合を評価して頂き、学校に提出される「実習評価報告書」も成績判定の一つとしている。また、(公財)北九州活性化協議会の産業人材育成フォーラム仲介のインターンシップについては、手続き要領や実習内容の改善に係る協議も行っている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<平成28年度本科・機械工学科第4学年「学外実習」シラバスのURL> https://syllabus.kct.ac.jp/index.php?subject=100129&year=2016&grade=5&department=3&mode=syllabus
問い合わせ先	大学等名 担部署名 担当者役職名 担当者氏名 電話番号 メールアドレス	北九州工業高等専門学校 学生課 キャリア支援室 学生課 課長補佐 大波多 博文 093-964-7238 g-career@kct.ac.jp